

平成29年度自己評価結果公表シート

庄本幼稚園

I、本園の教育目標

<p>緑いっぱいの環境の中で おもいやりのある子ども 自主性のある子ども 明るく楽しく素直な心の子どもを目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につける。 ・自然に対する関心を抱かせる。 ・丁寧な保育をし、自立心を育てる。 ・思いやりのある子どもらしい子どもに育てる。 ・行事や活動から生まれる達成感や感動を体験する。
--

II、本年度、重点的に取り組む目標と計画(PLAN)

<ol style="list-style-type: none"> 1、行事に対する取り組みと達成 2、保育の在り方、園児への対応 3、健康と安全への配慮 4、教師としての資質の向上
--

III、評価項目の達成及び取組状況(DO)

評価項目	取組状況
<p>1、行事や活動から生まれる達成感や感動を体験 ア、達成感を味わう</p> <p>イ、それぞれの得意、不得意を理解して指導する</p> <p>ウ、1人では味わえない達成感をみんなで分かち合う</p> <p>エ、行事や活動を自ら楽しんで取組む</p> <p>オ、自信へと導かせる</p>	<p>ア、練習から本番までの段階で少しずつ形になっていき、喜びや達成感を味わうことができた。終わった後はたくさんの笑顔が見られた。運動会や縄跳びは遊びを通じて目標に向けた作品展ではイメージを膨らませ出来上がりを楽しんだ</p> <p>イ、1人一人の性格を把握し、こどもと一緒に考えるように指導した。できるだけ見守るように心がけた。苦手なところを集中的に指導</p> <p>ウ、日頃から歌や楽器に多く親しみ、音を楽しむ取り組みをしている。全員が頑張ることで、出来上がったものの素晴らしさを子どもたちと考えた。</p> <p>エ、行事や活動について理解を深める話をしたが、理解できていない子もいる。やらされているという感じ方を出来るだけなくした。</p> <p>オ、少しでも良くなったことを誉める。目標に少しでも達成した時に誉める。プロセスも大事にした。</p>
<p>2、保育の在り方、園児への対応 ア、一人一人のありのままの姿を受け入れるようにしている。</p> <p>イ、スキンシップを心がけている</p> <p>ウ、園児の話を聞くようにしている</p> <p>エ、園児が自ら考えたり、工夫したりできるような見守り方をしている。</p> <p>オ、友だちとの関わり方</p>	<p>ア、園児1人ひとりと正面から先入観なく関わり、また、保護者や同僚からの情報も参考にしながら多面的に理解しようと心がけた</p> <p>イ、子供達に安心感を与えるため子供の目線で、話し方や言葉に気を付けるよう心がけた。</p> <p>ウ、話を聞く姿勢がとれているか、異変を感じた時はすぐに近寄り、目を見て話をするようにしている。</p> <p>エ、まず、自分達で考えてもらい、ヒントを出しながら一緒に解決するようにしている。</p> <p>オ、園児同士の間接的に関わりながら、トラブルがあると、なるべく子供同士の解決を目指す。両者の話を聞き適切な対応をする。</p>

3.健康と安全への配慮 ア、健康への配慮	ア、登園時の視診、ケガや体調不良時の処置、連絡を適切に。 朝の挨拶時、普段の園児の顔色、体調などの観察が必要。 ケガの場合、的確に判断し、かかりつけ医の診察を受け、保護者に伝える。医師の診察をうけなく園で処置した場合でも退園時等に保護者に伝える。
イ、伝染性病気対策	イ、手洗い、うがい、除菌、マスクの徹底。発熱、せき、下痢等 体調不良の確認と連絡、現在流行している病気の情報収集と対応に早めに行動する。
ウ、遊具等の点検マニュアルの活用	ウ、毎朝の目視点検、週1回、2カ月1回点検、遊びの指導、1か所に留まらないよう広くしっかりと目配りする。 破損箇所、破損を予想される箇所の対策。
エ、避難訓練、健康診断	エ、不審者対策(訓練、通報、連絡)、火災、地震避難、 自分自身の行動、安全な誘導計画を記憶しておく。 内科、歯科、眼科、耳鼻科診断の完全実施
4.教師として資質の向上 ア、園児や保護者との対応は公平性を欠かさないよう	ア、感情的にならず常に冷静に判断するよう心がけている。 先入観を持たず常に新しい気持ちで、
イ、身だしなみ、挨拶、感謝の気持ち	イ、社会人としての心構え、常識を持つよう、常に感謝の気持ちを持ちながら、
ウ、清掃や整理整頓を実行	ウ、朝夕チェック、保育準備に追われて清掃がおろそかにならないよう 気持ちよく、また衛生面でも隅の細かいところまで
エ、プライバシーに関する情報の保護	エ、プライバシーに関する情報は持ち帰らない、保管や取り扱いに気を付ける。全て園で保管。
オ、情報の共有、職員間の協力と連携	オ、情報の交換は口頭やホワイトボード、メモ等で、困った時はクラスを超えて相談、
カ、幼稚園教諭としての専門知識や技能の向上	カ、自分自身勉強、研修に積極的に参加、

IV. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果(CHECK)

取り組むべき目標や計画について、全職員が共通に理解し積極的に取り組んだ。1.達成感や感動については、少しずつ形になっていく喜びや、終わった後の沢山の笑顔が見られた。個人差も考慮しながら行事や活動への理解を進めたが十分ではなかった、目標に向かうプロセスも重視、達成した場合にしっかり誉めることも自信へとつながっていった。2.の保育の在り方、園児への対応については、保護者や同僚の先生からの情報を得て先入観を持たないよう心がけた。常に安心感や楽しい気持ち忘れずに子供の視線で話しかけるよう、トラブルがあれば双方の意見を平等に聞くよう心がけた。子供の自主性の尊重が不足した面があった。3.健康と安全については、当園時に出来るだけ言葉かけをし、子供の体調や顔色の観察に心がけ、保護者との連絡を密にした。日ごろの手洗い、うがい、消毒等に心がけた。遊具の点検の結果として、降り口の人工芝の設置、土入れ、排水工事等を行った。避難訓練、健康診断については例年通り行ったが、一工夫必要。4.教師として資質の向上については、公平性、挨拶、身だしなみ、整理整頓、情報の保護、共有職員間の連携、専門知識の向上に努めたが、不足のところがあつた。

V. 今後、取り組むべき課題(ACTION)

重点的に取り組むべき目標や項目について、全職員が十分に理解し、実行できるよう、環境づくり、意識の高揚に努力しなければならない。小規模園でこそできる個人差に配慮した行事や活動への対応、自主性の尊重、子どもへの更なる目配りを進めなければならない。
施設については常日頃の、いろんな角度からの点検を行い、想定される危険性に気付き早めの対策、計画的な整備が必要。
職員の自覚と、研修の実施が必要。

VI. 学校関係者の評価

評価は概ね妥当であると認められる。家庭との連絡も適切に行われ、先生方のきめ細かな熱心な指導も良好であるとみとめられる。人数の多いクラスでも丁寧に対応されていた。流行性の感染症が発生した場合、早く状況を知らせてほしい。学級閉鎖等の判断を早めに。情報の共有を徹底してほしい。等の意見があつた。

VII. 財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められている。